

全国 戦国武将大集合!

地元の山形おきたま【愛】の武将隊をはじめ、全国選りすぐりのご当地武将隊が大集合!今年も各地の武将隊がふるさとの味、観光文化自慢と時代絵巻を繰り広げます!あなたのお気に入りの武将は誰でしょうか?

山形おきたま【愛】の武将隊

今からおよそ400年前。豊臣秀吉の亡き後、群雄割拠の混乱した時代。上杉家2代当主米沢藩初代藩主、上杉景勝の重臣"直江兼続"それらを支える精鋭上杉軍には、兼続の盟友"前田慶次"。これを迎え撃つ宿敵最上軍は、山形藩初代藩主"最上義光"を頭に、義光の甥で仙台藩初代藩主、米沢生まれの"伊達政宗"、政宗の近習でもあり後に軍師もつとめた"片倉小十郎"、そして長谷堂の戦いでは最上軍の副将を努めた真室川城主、"鮎延秀綱"も参戦する。関ヶ原の戦いのきっかけとも言われる『長谷堂の戦い』をモチーフに、愛と義のもとに集結した力強い漢達姿を、篤とご照覧あれ!



奥州・仙台おもてなし集団 伊達武将隊

奥州・仙台おもてなし集団・伊達武将隊は杜の都・仙台の魅力を広めるために、仙台藩祖である伊達政宗公と家臣団で結成されたPR集団です。戦国時代、独眼竜と恐れられ永遠の都を夢見て仙台藩を開府した奥州の覇者・伊達政宗(だてまさむね)、伊達政宗の従兄弟で伊達三傑・武の武将 伊達成実(だてしげざね)、政宗公の右目と言われた名参謀にして智の武将・片倉小十郎、さらに仙台街割の立役者・伊達三傑・史の武将 茂庭綱元(もにわつなもと)、出帆400年を迎えた慶長遣欧使節・支倉常長、政宗公の乳母・片倉喜多、仙台繁栄のために武将たちとともに尽力した黒腰巾組(くろはばきぐみ)、そして足軽たちが、戦国の世を戦い抜き、そして仙台藩を開府したドラマを演武に込めて、ご紹介いたします。



両日会場 伝国の杜(置賜文化ホール)

2月8日土 11:00開演

時間	内容
11:00	第1部 歴史講演会『慶長5年奥羽合戦①』
13:00	第2部 オープニング
13:20	山形おきたま【愛】の武将隊
13:45	後三年合戦絵詞
14:30	みやぎ川崎 慶長遣欧使節団 支倉常長隊
14:55	忍城おもてなし甲冑隊
15:20	今ここに集結!伊達家サミットin米沢
15:45	奥州・仙台おもてなし集団 伊達武将隊
16:10	白石戦國武将隊奥州片倉組
16:35	風林火山 甲斐の虎武将隊
17:00	山形おきたま【愛】の武将隊
17:30	全武将隊によるエンディング
18:00	ロビーにてお見送り

忍城おもてなし甲冑隊

埼玉県行田市の忍城(おしじょう)は、関東七(しち)名城のひとつにも数えられ、中でも戦国時代末期、豊臣秀吉により行われた小田原北条攻めのおり、石田三成が行った水攻めを耐え抜いたエピソードは「秀吉が唯一落とせなかった城」として語り継がれ、数々の物語の題材になりました。とくに一昨年秋公開された映画「のぼうの城」により、その舞台となった行田市は、広く注目を得ることとなり、この地を訪れる観光客の皆様がよりいっそう歴史に親しんでいただけるよう、戦国時代に豊臣秀吉軍と対峙(たいじ)した成田家の勇猛果敢な武将達により結成されたのが、忍城おもてなし甲冑隊です。



白石戦國武将隊 奥州片倉組

地域に愛され、ゆかりある名將たち。その名立たる武将たちが、山形、宮城で結集!2010年7月に山形県置賜地方で「山形おきたま【愛】の武将隊」さまが、同じく8月に、宮城県仙台市で「奥州・仙台おもてなし集団 伊達武将隊」さまが起つ。そして続くこと9月、宮城県白石市で、地元の名將【片倉小十郎景綱】を中心に、関わりある武将たちが満を持して起ちあがる!その名も、【白石戦國武将隊 奥州片倉組】!!



2月9日日 10:00開演

時間	内容
10:00	第1部 歴史講演会『慶長5年奥羽合戦②』
11:10	第2部 オープニング
11:25	白石戦國武将隊 奥州片倉組
11:50	みやぎ川崎 慶長遣欧使節団 支倉常長隊
12:50	風林火山 甲斐の虎武将隊
13:25	上杉太鼓保存会
13:45	山形おきたま【愛】の武将隊
14:15	エンディング
14:30	ロビーにてお見送り

両日共、タイムスケジュールや出演者は、都合により変更になる場合がございます。ご了承願います。

風林火山 甲斐の虎武将隊

~甲斐の虎 うらおもてなく おもてなし~
心の裏表なく、富士山の裏表なく、心からのおもてなしを目指す!甲斐国(山梨県全域)の観光推進と地域活性化の為に戦国の世から現世に復活して参った!名立たる大名から「甲斐の虎」と呼ばれおそれられた武田信玄公。宿敵、上杉軍との「川中島の戦い」は今もなお語り継がれている。「風林火山」の軍旗をあげ名だたる武將と共にいざ米沢へ参陣!我々の本拠地は武田信玄公の菩提寺の恵林寺!毎年4月12日には信玄公忌(信玄さんのお祭り)が開催されます。我らも参陣!是か非でも甲斐国へお越しください!



みやぎ川崎慶長遣欧使節団 支倉常長隊

時は慶長18年(1613年)。奥州は伊達政宗公の使者として太平洋・大西洋を渡り、日本初となる通商外交の国際舞台で活躍した人物がいた。その者の名は「支倉常長」。政宗公への忠誠心や巨大国をも唸らした日本人の凛々しさ、そして悲運な時代にも屈せず生き抜いた様を抱き、関わる者全てに粘り強さと誇りを与えることを使命とし、川崎町に実在した武將やローマにて公民権を得た家臣にて構成される。慶長遣欧使節として航海していた時の着物姿や、戦乱の世に甲冑を身に纏い姿があり、どちらの姿に出会えるかは出会ってからの楽しみ!!



平泉源流プロジェクト応援団 後三年合戦絵詞

時遡ること九百二十余年。貴族から武士へ、時代の主役が移り変わろうとする平安の終りの陸奥にて、長きに亘る戦があった。後に源氏の棟梁と謳われる源八幡太郎義家、平泉建立を成す若き日の清原清衡。後三年合戦絵詞に描かれしのツワモノどもが、秘蔵?!秋田を知らしめるべく、参る。



2月8日・9日 歴史講演会 講師紹介 阿部 哲人氏

【プロフィール】 1969年3月 山形市生まれ
2000年3月 東北大学大学院文学研究科博士課程後期単位取得満期退学
2000年4月 米沢市立文化振興財団奉職 米沢市立上杉博物館学芸員
現在、米沢市上杉博物館主任学芸員